

事業番号	事務事業名	空き家片づけ補助金交付事業			所管課名	まちづくり課	令和 3 年度課長名	柳井 和彦
00339	政策名	4	快適な生活環境の里づくり			係名	担当者・シート作成者	山下 直人
	施策名	45	定住化の促進			根拠法令等		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	空家の片付けにより、住環境の整備と移住・定住者の推進に寄与するための助成事業 空家の売買契約又は賃貸借契約の売主(貸主)又は購入者(借主)に対し、空家の片付けに係る費用の1/2(10万円を限度)を補助する。	平成29年度から、空き家の有効活用による町内人口の増加と地域経済の活性化を図るため、町内の空家の売買契約又は賃貸借契約の売主(貸主)又は購入者(借主)に対し、当該空き家の片付けに必要な経費の一部に対し、予算の範囲内において補助を行なう制度を開始した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標		単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア	移住・定住希望者	→	ア	件	見込	200	240	240	270	270
					実績	235	194	206		
イ		→	イ		見込					
					実績					
ウ		→	ウ		見込					
					実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)		単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア	移住・定住してもらう	→	ア	件	目標	3	3	3	3	3
					実績	3	3	6		
					達成率	100.0%	100.0%	200.0%		200.0%
イ		→	イ		目標					
					実績					
					達成率					
ウ		→	ウ		目標					
					実績					
					達成率					

③主な活動内容		⑥活動指標		単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア	空き家片付け補助金交付	→	ア	件	目標	3	3	3	3	3
					実績	3	3	6		
					達成率	100.0%	100.0%	200.0%		200.0%
イ		→	イ		目標					
					実績					
					達成率					
ウ		→	ウ		目標					
					実績					
					達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 02		項 01		目 06		大事業 中事業 18 14					事業番号
	一般会計		総務費		総務管理費		企画費		予算上の事業名					
									空き家片づけ補助金交付事業					00339
予算(千円)	1 年度実績	2 年度実績	3 年度実績	4 年度見込	5 年度見込	前年比	決算(千円)	1 年度実績	2 年度実績	3 年度実績	4 年度見込	5 年度見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財							その他特財							
一般財源	300	400	500	500	500	100	一般財源	220	202	395	500	500	193	
合計	300	400	500	500	500	100	合計(A)	220	202	395	500	500	193	
財源名称							従事正職員人数	1	1	1	1	1		
							延べ業務事務時間	8	8	8	8	8		
							人件費計(千円)(B)	28	27	27	27	27	0	
最終予算額		500 千円		予算執行率		79.0%	トータルコスト(A+B)	248	229	422	527	527	193	
主な支出事業内容(予算)	補助金					500 千円	主な支出事業内容(決算)	補助金					395 千円	

事業番号	00339	事務事業名	空き家片づけ補助金交付事業	所管課名	まちづくり課
------	-------	-------	---------------	------	--------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
移住希望者が空き家を求めるニーズは年々高まっているのと同時に、片付けが必要な空き家が大半を占めている状況。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
補助の内容としては変更せず実施してきている。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
空き家を購入等した移住者からは、当片付け補助金が大変役立つという意見がある。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 鏡野町経営方針の重点施策として定住化が掲げられており、その中で定住希望者への支援の充実が掲げられているが、本事業はこうした内容に結びついたものである。	
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当である	理由説明	鏡野町における地域活性化対策の一つとして、移住・定住施策は町が関与すべきものであり妥当である。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)			
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 適切である	理由説明	事業の現状や成果から考えて、対象は見直す余地はないが、意図についての転入人口については、色々な要因での窓口における転入者数としているため、これについては見直しても良いと考える。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明	空き家の売買件数等が増加すれば、比例的に補助金希望者も増えるものと考えているが空き家購入者や賃貸借契約をされた方に、更なるPRが必要。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明	制度を必要としている方もいることから、廃止の場合は影響が出る。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明	今の補助率は、片付け費用の1/2(10万円が限度)であるが、これ以上の改善は考えていない。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明	制度の内容から考え、事業費の削減余地はない。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明	業務にかかわる職員は、他の業務と兼務で事業を実施していることから、これ以上の削減は出来ない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明	事業対象者は、鏡野町内の空き家を購入等した移住者及び鏡野町内の持ち主であり、公平・公正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	目的妥当性、効率性、公平性については適切である。 有効性については、空き家購入者や賃貸借契約をされた方について、更なるPRを図ることで成果の向上を図りたい。																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 補助制度の見直しについては、再検討の余地があるが、基本的には現状の制度を維持していきたい。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1" style="display: inline-table;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
特になし。		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																							